

【中学英文法】 代名詞 (1)

●代名詞 (1) のポイント

- ▼ 1 代名詞の種類
- ▼ 2 it の特殊用法 + it と one の区別

▼ 1 代名詞の種類

◆ 代名詞の種類

- ① **人称代名詞**・・・人やものを指す代名詞
- ② **指示代名詞**・・・人やものを指したり、前に述べた語 (句) や文を指す代名詞
- ③ **不定代名詞**・・・不特定の人、もの、数量を表す代名詞

① 人称代名詞

人称	数	主格 (～は[が])	所有格 (～の)	目的格 (～を[に])	所有代名詞 (～のもの)	再帰代名詞 (～自身)
一人称	単数 (私)					
	複数 (私たち)					
二人称	単数 (あなた)					
	複数 (あなたたち)					
三人称	単数 (彼)					
	単数 (彼女)					
	単数 (それ)				—	
	複数					

② 指示代名詞

単数		複数	
これ / この		これら	
あれ / あの		あれら	

名詞なので **S (主語)・O (目的語)・C (補語)** になる！

さらに、**形容詞**にもなる！ (例 **this** dog 「この犬」 **that** store 「あの店」 など。)

③ 不定代名詞

みんな (全部)		それぞれ	
両方		ほかの	
いづらか	/	ほかの (一つ)	

★ each は2以上、every は3以上で単数扱い！

each は名詞・形容詞の両方あるが、every は形容詞のみ (= 名詞にならない)。

○ each 名詞 / ○ every 名詞 ○ each of 名詞 / × every of 名詞

★ 他に、something (何か) anything (何か)
 everything (何でも) nothing (何も～ない) も**単数扱い**やで！

▼ 2 it の特殊用法 + it と one の使い分け

◆ it の特殊用法

it は時刻・月日・季節・天候・明暗・距離・時間などを表すとき、主語に it (訳さない) を使う。

- | | |
|--------------------------------------|-------------------|
| a. It is eleven thirty. | 「11 時 30 分です。」 |
| b. It rained a lot yesterday. | 「昨日は雨がたくさん降った。」 |
| c. It is getting dark. | 「だんだんと暗くなってきている。」 |

◆ it と one の使い分け

it はその同一のものを表すが、one は種類を表す。

- | | |
|--|---|
| a. Wow, you have a nice car. I want it . | 「わあ～、いい車を持っているね。 それ 欲しいな。」 |
| b. Wow, you have a nice car. I want one . | 「わあ～、いい車を持っているね。僕も (同じようなもの) が欲しいな。」 |
| c. These shirts are too big. Do you have smaller ones ? | 「このシャツは大きすぎるな～。 もっと小さいの はありませんか？」 |

★ one は複数形を **ones** で表すことができ、前に形容詞をつけることができる。

(it は前に形容詞はつけられない + it の複数形は they もしくは them)

【中学英文法】 代名詞 (2)

●代名詞 (2) のポイント

▼1 some と any の使い分け

▼2 another / other / the other / others / the others の違い

▼1 some と any の使い分け

● 本当じゃないけど中学英語で何とかなる解説バージョン

some は**肯定文**で使い、「いくらかの」と訳し、

any は**否定文、疑問文**に使い、「いくらかの / 少しも~ない / どの~も」と訳す。

、、、これは便利な解説やけど、本当ではないからちゃんとしたものを話していくで！

● ホンモノの解説バージョン！

some = 「ボンヤリとした / 適量」

any = 「1~∞ / どれでも・何でも・誰でも」

some students だったら「(ボンヤリと何人か→) **数人**」

some flowers だったら「(ボンヤリと何本か→) **数本**」

Some students study hard and **others** don't.

「一生懸命 (何人かは勉強する →) 勉強**する人も**いれば、(他の何人かはしない →) **しない人も**いる。」

【some ~, others ~ = 「~する人 (もの) もいれば、~する人 (もの) もいる。」】

● 次の違いも確認しておこう！

a. Do you have **any** food in the fridge? 「冷蔵庫に食べ物ある？」

b. Do you have **some** food in the fridge? 「冷蔵庫に食べ物ある？」



a は any があるから、「冷蔵庫に (どのくらいでもいいから**とりあえず**) 食べ物ある？」

a は some だから、「冷蔵庫に (ある**程度の**) 食べ物ある？」

というニュアンスの違いになる。

▼2 another / other / the other / others / the others の違い

① another / the other

「2個」	「3個以上」
	

☆ another と the other の違いを見極めるコツは「**a と the の違い**」がわかってるかどうか！

a は不特定で、**the は特定される**時に使う。

a. There are two bikes. **One** is mine, and **the other** is my brother's.

「自転車が2台ある。一つは自分のもので、もう一つは弟のものだ。」

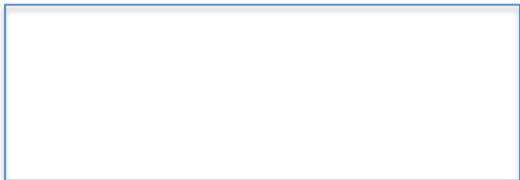
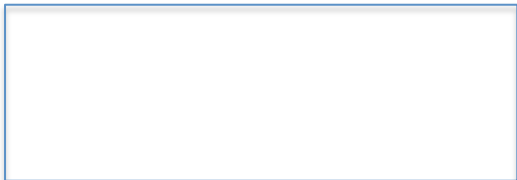
b. Would you like **another** cup of tea?

「もう一杯お茶はいかがですか。」

☆ another とは an + other のこと。

→ **another の前に the はつかない / 後ろに複数形はこない**

② the others / others

	
---	--

これも同じ。どちらも複数を表すが、**特定されるか不特定か**の違い。

a. I have five cars. **One** is black and **the others** are red.

「私は車を5台持っている。一つは黒で残りは**(他は)**赤だ。」

b. Some students study hard and **others** don't.

「一生懸命勉強する人もいれば、しない人もいる。」 ← 不特定の人々